

情報工学科 平成28年度 2学年	科目	プログラミングⅡB コード: 32221 履修単位	1単位 後学期	担当 稲垣宏
本校教育目標: ①		JABEE 学習・教育到達目標: プログラム学習・教育到達目標:		
科目概要: 「プログラミングⅡ A」に引き続き、より実用的なプログラミング技術を習得するために、C 言語を利用したプログラミング教育を行なう。講義のスタイルは、まず、C 言語の基本的な文法事項をできるかぎり直感的に理解できるよう解説した後、多くの例題を解くという作業を繰り返す。これにより、C 言語のプログラミングスタイルを無理なく習得することができる。内容としては、「プログラミングⅡ A」で紹介できなかった制御構造や演算子を取り上げた後、構造体やファイル操作等までをカバーし、これで C 言語の文法事項は一通りマスターしたことになる。				
教科書: 特に指定しない その他: 教材用プリント配布				
評価方法: 定期試験(100%) /				
授 業 内 容				授業時間
(1) シラバスを用いたガイダンス、その他の制御構造:do while 文				2
(2) その他の制御構造:switch case 文				2
(3) その他の制御構造:else if 文の構造と使い方				2
(4) C 特有の演算子:ビット演算子				2
(5) C 特有の演算子:条件演算子				2
(6) 構造体:構造体の概念と定義方法				2
(7) 構造体:構造体配列、ポインタ参照の使い方				2
(8) データ型と記憶クラス:enum 型の使い方				2
(9) データ型と記憶クラス:静的変数と外部変数の意味				2
(10) プリプロセッサ:プリプロセッサの役割、簡単なマクロおよび引数付きマクロの作り方				2
(11) 標準ライブラリ関数:乱数関数の使い方				2
(12) 標準ライブラリ関数:文字列処理関数の使い方				2
(13) ファイル操作:ファイル入出力の概念、ファイル入出力関数の使い方				2
(14) ファイル操作:書式つきファイル入出力関数の使い方				2
(15) 後期の総まとめ				2
達 成 度 目 標				
(ア) C 言語で利用できるいくつかの制御構造を利用することができる。				
(イ) C 言語特有の演算子を使うことができる。				
(ウ) 構造体を自分で定義し、それを操作することができる。				
(エ) 文字列処理関数を利用することができる。				
(オ) 基本的なファイル入出力処理を実現できる。				
特記事項: 「プログラミング演習ⅡB」と併せて受講しなければならない。				